

令和9年度

大学院看護学研究科看護学専攻

(博士前期課程 博士後期課程)

学 生 募 集 要 項



岐阜県立看護大学大学院看護学研究科

本学はこのような学生の入学を求めています

■博士前期課程

<本学が求める入学者>

看護学研究科博士前期課程では、実践現場における看護課題を適確に分析し、理論的・創造的に改革・改善することに指導的役割を担う人材、また人権を尊重した科学的な根拠に基づいた看護サービスが提供できる高度な看護専門職者を育成することを目指しています。

そのため、保健医療福祉教育の場で働いている看護職者（養護教諭含む）であって、看護サービスの改善・改革に強い関心を持っている者、人材育成も視野に入れて看護職場単位または看護チームで課題解決に取り組むことに関心のある者、看護サービス利用者の生活を中心にした看護ケアの実践を重視している者の入学を求めています。

なお、学生募集要項に示す期間の実務経験を有することを出願資格の要件の一つとしています。実務経験とは、保健師、助産師、看護師または養護教諭の資格取得後において、当該資格を基にした専門分野での勤務経験をいいます。

<入学者選抜の基本方針>

試験は、筆記試験、口述試験（面接）を行います。

筆記試験は、看護（養護を含む）に関する基礎的知識及び考え方を問う看護学一般と選択する領域に関する専門的知識、現状における問題・課題に関する認識状況を問う専門領域選択科目の試験を行います。

口述試験（面接）は、個別面接により行います。入学後に取り組もうとしている実践の改革への問題意識や社会的役割などを含めて、本研究科で育成しようとしている人材像に対する適格性などを確認します。看護（養護を含む）の分野での指導性を発揮できる可能性なども考慮します。なお、必要に応じて、出願時に提出した書類記入事項についての追加質問も行います。

入学者の選抜は、筆記試験の得点、口述試験（面接）及び調査書等の内容を総合して評価します。

<入学までに身につけてほしいこと>

- ・看護サービス利用者の生活を中心にした看護ケアの実践ができる。
- ・保健師、助産師、看護師または養護教諭として所属組織の中で実践経験を重ね、社会における看護の役割・責任についての考えを持っている。
- ・実践を振り返り、看護（養護を含む）の質の向上に取り組む姿勢がある。

■博士後期課程

<本学が求める入学者>

看護学研究科博士後期課程では、看護実践の研究能力を付与する教育を担うことのできる看護職として、看護実践の特質を踏まえた教育研究活動を実施できる人材、また複雑な要因が絡む看護実践の改革を組織的に指導できる実践研究指導者の育成を目指しています。

そのため、大学・大学院における教員として、看護実践の改善・改革を目指す看護学の学士課程教育および大学院教育の実施に関心のある者、保健医療福祉教育の場で働いている看護職者（養護教諭含む）であって、実践の改善・改革の研究の指導に関心を持っている者の入学を求めています。

なお、保健師、助産師、看護師または養護教諭（以下、「保健師等」という）として5年以上の実務経験を有することを出願要件の一つとしています。実務経験とは、保健師等の資格取得後において、当該資格を基にした専門分野での勤務経験をいいます。

<入学者選抜の基本方針>

試験は、筆記試験、口述試験（面接）を行います。

筆記試験は、看護学に関する基本知識及び看護学の特質、専門職としての人材育成、管理・運営等に関する考え方を問う看護学と英文の文献を活用する能力を問う英語の筆記試験を行います。

口述試験（面接）は、個別面接により行います。本人が志向している研究計画等を含めて、本研究科で育成しようとしている人材像に対する適格性などを確認します。看護（養護を含む）の分野での指導性を発揮できる可能性なども考慮します。なお、必要に応じて、出願時に提出した書類記入事項についての追加質問も行います。

入学者の選抜は、筆記試験の得点、口述試験（面接）及び調査書等の内容を総合して評価します。

<入学までに身につけてほしいこと>

- ・看護学の特質を踏まえて、看護学の教育や看護実践において改善・改革に責任を持って取り組む姿勢がある。
- ・看護学に関する基本知識があり、看護学の特質、専門職としての人材育成、管理・運営等に関する考えを持っている。
- ・英文の文献を活用する能力がある。
- ・自律して研究活動ができる態度を有している。

目 次

1 大学院看護学研究科の教育理念と教育目標	1
-----------------------	---

2 博士前期課程

I 募集人員	2
II 出願資格	2
III 出願前の手続	3
IV 出願手続	6
V 試験方法	8
VI 合格発表	9
VII 入学手続	9
VIII 個人情報の利用について	11
看護学研究科（博士前期課程）の概要	12

3 博士後期課程

I 募集人員	19
II 出願資格	19
III 出願前の手続	19
IV 出願手続	21
V 試験方法	23
VI 合格発表	24
VII 入学手続	24
VIII 個人情報の利用について	26
看護学研究科（博士後期課程）の概要	27

4 博士前期課程（第1次入試）添付書類

5 博士前期課程（第2次入試）添付書類

6 博士後期課程添付書類

7 共通添付書類

試験会場へのアクセス

1 大学院看護学研究科の教育理念と教育目標

岐阜県立看護大学大学院は、現職看護職の看護生涯学習の拠点としての機能を発揮することを目指しています。

■大学院看護学研究科の「教育理念」

看護の諸活動は、人々の生活の営みを健康生活の面から支えるものであり、その中心的課題は人権尊重に基づく自立的問題解決への支援です。この支援では、常に看護サービス利用者中心のあり方が基本となります。

本研究科では、個人の尊厳と人権の尊重を基盤に据えた利用者中心のケアのあり方を追究し、広い視野から看護実践の改革を積極的に推進できる創造的・先駆的指導者層の育成を目指します。この教育・研究活動を通して、国民が受け取る看護サービスの質の向上を図り、同時に、実践性・応用性の高い看護学の確立と発展を図ることを目的とします。

■博士前期課程の「教育目標」

看護実践の具体的諸課題に焦点をあて、その問題解決能力の育成をし、実践の場において、次の能力を発揮できる人材を育てます。

- ① 専門性の高い看護実践を遂行する能力
- ② 看護の質の充実に向けた改革を実行する能力
- ③ 多様な関係者の中で、ケア充実に向けた調整・管理をする能力
- ④ 総合的視野と高い倫理観に基づく看護サービスを改革する能力
- ⑤ 各種の専門領域で、後輩の指導を担う能力

本研究科では、慢性看護・小児看護・がん看護分野の専門看護師コースを併設していますので、各コースでは当該看護分野における卓越した看護の実践、看護職者に対する教育、ケア提供者へのコンサルテーション、関係者の調整、実践の場での研究、倫理的調整などの諸活動が遂行できる能力を育成します。

■博士後期課程の「教育目標」

看護実践の研究能力を付与する教育を担うことのできる看護職者を育てます。

具体的には、まず大学・大学院における教員として、看護実践の特質を踏まえた教育研究活動を実施できる人の育成です。次に、看護実践現場において必要な人材として、複雑な要因が絡む看護実践の改革を組織的に指導できる実践研究指導者の育成です。

そのために、下記の能力を培います。

- ① 保健・医療・福祉施設など、看護サービスが提供される場に関与する多様な要因について理解ができ、実践の改善・改革の研究を指導できる能力
- ② 地域の看護行政・看護政策にかかわる看護実践研究の課題が明確化でき、看護行政施策の進展に向けた研究的取組みができる能力
- ③ 利用者中心の看護として、倫理的課題を把握し、看護実践の改善に向けた研究的取組みができる能力
- ④ 看護実践の改善・改革を目指す看護学の学士課程教育(基礎教育)や大学院教育を実施できる能力

修了後は、看護学の大学・大学院の教員又は看護提供施設の管理・指導者として、看護実践の改革のための教育・研究を推進し、看護学の発展に貢献することを期待しています。

3 博士後期課程

令和9年度岐阜県立看護大学大学院看護学研究科 看護学専攻（博士後期課程） 学生募集要項

I 募集人員

研 究 科 名	専 攻 名	募 集 人 員
看護学研究科 博士後期課程	看護学専攻	2名

II 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ保健師、助産師、看護師または養護教諭（以下「保健師等」という）として5年以上の実務経験を有する者です。

「実務経験」とは、保健師等の資格取得後において、当該資格を基にした専門分野での勤務経験をいいます。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において2か年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2か年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (4) 学士の学位を有し、本研究科において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において24歳に達している者

「出願資格（3）、（4）」により出願をしようとする者については、出願前に個別の資格審査での認定が必要です。詳しくは『III 出願前の手続』の「2 出願資格審査」を参照してください。

III 出願前の手続

1 事前面談

出願する者は、全員、出願前に入学後の研究等について、研究指導教員（『看護学研究科（博士後期課程）の概要』27頁参照）の面談を受けてください。

なお、事前面談は、学務課（電話 058-397-2300）へ申し込んでください。

事前面談の申し込み期間は、下記のとおりです。（土日祝日を除く）

出願資格審査申請者	令和8年10月13日（火）～ 令和8年10月16日（金）
出願資格申請者以外の出願者	令和8年11月4日（水）～ 令和8年11月18日（水）

2 出願資格審査

「出願資格（3）、（4）」により出願する者は、出願前に個別の資格審査により認定を受ける必要があります。

出願資格審査申請条件としては、保健師、助産師、看護師または養護教諭の資格を有し、実務経験が令和9年3月末までに、通算5年以上必要です。

※出願資格審査申請を行う者にあっても、前記「1 事前面談」の期間内に事前面談の申し込みを行ってください。

※認定された出願資格は、本大学院看護学研究科の出願資格として当該年度を含め3年間有効となります。

(1) 出願資格審査申請期間

令和8年10月26日(月) ～ 令和8年10月30日(金) 午後5時必着

(2) 出願資格審査申請書類

出願資格審査申請書	① 本学所定の様式(H票)に、必要事項を記入してください。 ② 写真票に貼付する写真と同一の写真(裏面に氏名、生年月日を記入)を所定の場所に貼付してください。
写 真 票	縦4cm×横3cmの写真(裏面に氏名、生年月日を記入)を所定の場所に貼付してください。
受 験 票	所定欄に必要事項を記入し、写真票に貼付した写真と同一の写真(裏面に氏名、生年月日を記入)を所定の場所に貼付してください。
調 査 書	本学所定の様式(D票(D-1, D-2, D-3))に、必要事項を記入してください。
在籍期間証明書	本学所定の様式(F票)によってください。1施設(機関)で申請条件に該当しない場合は複数の施設(機関)から証明を受け、通算して5年以上になるようにすること。また、D票の履歴欄と一致すること。
免許証(状)の写し	保健師、助産師、看護師または養護教諭の資格のうち、取得している全ての免許証(状)の写しをA4サイズに縮小したものを提出してください。
卒業(修了)証明書	次のいずれかについて提出してください。 ① 出身大学の卒業証明書又はそれに相当する課程修了証明書 ② 学位授与証明書
論 文	公表された論文3編以上について、全文(写し可)と要旨(2000字程度)を提出してください。ただし、その論文は単著、又は、共著の場合は筆頭著者である論文とします。
出願資格審査受験票返送用封筒	本学所定(I票)の出願資格審査受験票返送用封筒に410円分(110円+速達300円)の郵便切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。(印刷してある「様」は消さないでください。)

注1 申請書類は、戸籍上の氏名を記入してください。

注2 改姓により申請書類と各種証明書(写)の氏名が異なる場合は、戸籍抄本等を添付してください。

注3 郵便料金の改定が行われた場合は、改定後の料金の切手を貼付してください。

(3) 申請方法

申請書類を一括して所定の申請用封筒に入れ、簡易書留速達扱いの郵送又は直接持参によって申請してください。直接持参の受付時間は、期間内の午前9時から午後5時までです。

(4) 申請先

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1

岐阜県立看護大学 学務課 大学院入試担当

(5) 審査期日

令和8年11月11日(水)

(6) 審査会場

岐阜県立看護大学 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1 電話 058-397-2300

(7) 審査方法

審査は、申請書類及び個人面接により行います。

(8) 結果通知

令和8年11月13日(金)に郵送にて本人宛てに通知します。

認定された者は、所定の期間内に出願手続をしてください。

IV 出願手続

1 出願期間

令和8年11月26日(木) ～ 令和8年12月4日(金) 午後5時必着

2 出願書類

下記書類を「出願用封筒」に入れ、差出人欄に必要事項を記入し、提出してください。

A票	入学願書	<p>① 本学所定の様式に、必要事項を記入してください。</p> <p>② 写真票に貼付する写真と同一の写真(裏面に氏名、生年月日を記入)を所定の場所に貼付してください。</p> <p>③ 裏面には、入学検定料の振込証明書(入学願書貼付用)又は振り込みが確認できる書類のコピーを貼ってください。(下記「入学検定料」参照)</p>
B票	写真票	<p>① 縦4cm×横3cmの写真(裏面に氏名、生年月日を記入)を所定の場所に貼付してください。</p> <p>② 写真は正面、上半身、無帽、無背景、出願前3か月以内のものとしします。</p>
C票	受験票	<p>所定欄に必要事項を記入し、写真票に貼付した写真と同一の写真(裏面に氏名、生年月日を記入)を所定の場所に貼付してください。</p>
D票	調査書	<p>所定の様式(D票(D-1, D-2, D-3))に、必要事項を記入してください。本年度の出願資格審査を受けた者については、再提出の必要はありません。</p> <p>D-1 調査書については、書ききれない場合、別紙を添付してもかまいません。また、D-3 業績調査書については、この様式に準じたもので、当該内容がわかるものであれば、それを代用しても差し支えありません。</p>
E票	推薦書	<p>出願者をよく知る直属の上司などの推薦書を可能な限り提出してください。</p>
F票	在籍期間証明書	<p>本学所定の様式によること。1施設(機関)で出願要件に該当しない場合は複数の施設(機関)から証明を受け、年数を満たすこと。<u>また、D票の履歴欄と一致すること。</u>本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。</p>
	修士課程修了証明書 又は 同課程修了見込証明書	<p>修士課程の修了(見込)者は、修了(見込)証明書を提出してください。</p>
	学位(修士) 授与証明書	<p>学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者は提出してください。</p>
	修士の学位論文	<p>修士の学位論文の写し及びその要旨(2000字程度)を提出してください。</p> <p>出願時点で修士課程在籍中の者については、出願時点で整えられるものを提出してください。</p>
	免許証(状)の写し	<p>保健師、助産師、看護師または養護教諭の資格のうち、取得している全ての免許証(状)の写しをA4サイズに縮小したものを提出してください。</p> <p>本年度の出願資格審査により出願資格を認定された者については、再提出の必要はありません。</p>
	入学検定料※ (30,000円)	<p>① 同封の振込依頼書により銀行(ゆうちょ銀行除く)等の金融機関にて振り込みいただくか、ATM・ネットバンキング等により下記「※入学検定料の振り込みについて」記載の口座に振り込んでください。</p> <p>いずれの場合も振り込み手数料をご負担ください。</p> <p>② 振込証明書(入学願書貼付用)又は振り込みが確認できる書類のコピーを入学願書の裏面に貼って提出してください。なお、振込金受取書(本人控)は、本人が納付したことを示すものですから、大切に保管してください。</p> <p>③ 現金等による納付はできませんので注意してください。</p>
	資格審査結果の写し	<p>令和6年度以降に実施した本課程の出願資格審査により「資格あり」と認定された者は、その結果の写しを提出してください。</p>

G票	受験票送付用封筒	本学所定の受験票送付用封筒に410円分(110円+速達300円)の郵便切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。(印刷してある「様」は消さないでください。)
----	----------	--

注1 申請書類は、戸籍上の氏名を記入してください。

注2 改姓等により出願書類と各種証明書(写し)の氏名が異なる場合は戸籍抄本を添付してください。

注3 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

注4 郵便料金の改定が行われた場合は、改定後の料金の切手を貼付してください。

※入学検定料の振り込みについて

① 本要項に同封されている振込依頼書は、令和9年度大学院入学試験専用です。ご依頼人欄は、黒ボールペンではっきりと見やすい字で記入してください。また、直接機械で読み取られるので、汚したり、折り曲げたりしないでください。

② ATM・ネットバンキング等により振り込む場合は、下記の口座に振り込んでください。

銀行支店	十六銀行	羽島支店
預金種類	普通預金	
口座番号	1517085	
口座名義	公立大学法人 岐阜県立看護大学 検定料受入口座	
	コリツダ イガクホジシキフケリカクコダ イガクケンテイヨウケイレコザ	

3 出願方法

出願書類を一括して所定の出願用封筒に入れ、原則「簡易書留速達郵便」により郵送してください。直接持参の受付時間は、土日祝日を除く午前9時から午後5時までです。

4 出願先

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町3047-1
岐阜県立看護大学 学務課 大学院入試担当

5 出願にあたっての注意事項

- (1) 必要な書類がすべて揃っていない場合には受理できません。出願の際には、十分確認してください(出願用封筒裏面のチェック表を活用してください)。また、出願期間を過ぎて到着したものは受理できませんので、所要日数を十分考慮のうえ出願してください。
- (2) 出願書類受理後の出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、出願先に連絡してください。
- (3) 入学を許可した場合であっても、出願書類の記載内容と相違する事実が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 一度受理された出願書類及び納付された入学検定料は、理由の如何を問わず返還しません。
- (5) 受験票が令和8年12月9日(水)までに届かない場合には出願先までお問い合わせください。

6 身体等に障がいのある入学志願者の事前相談

本大学院に出願を希望する者で身体等に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、令和8年10月30日(金)までに上記『4 出願先』に相談してください。

V 試験方法

1 試験期日

令和8年12月12日(土)

2 試験日程

試験区分	時間	備考
筆記試験	a 看護学	9時30分～11時00分
	b 英語	11時10分～12時10分
口述試験	面接	13時00分～
受付開始9時00分		入室完了9時15分

(1) 筆記試験

a 看護学：配点（100点）

看護学に関する基本知識及び看護学の特質、専門職としての人材育成、管理・運営等に関する考え方を問います。

b 英語：配点（100点）

英文の文献を活用する能力を問います。

(2) 口述試験（面接）：評価（A：極めてふさわしい B：ふさわしい C：ふさわしくない）

個別面接により行います。本人が志向している研究計画等を含めて、本研究科で育成しようとしている人材像に対する適格性などを確認します。看護（養護を含む）の分野での指導性を発揮できる可能性なども考慮します。

なお、必要に応じて出願時提出した書類記入事項についての追加質問も行います。

3 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験の得点、口述試験（面接）及び調査書等の内容を総合して評価します。

4 試験会場

試験会場	住所	電話番号	アクセス
岐阜県立看護大学	岐阜県羽島市江吉良町3047-1	058-397-2300	JR 東海道新幹線岐阜羽島駅又は名鉄羽島線新羽島駅から徒歩15分

5 受験上の注意事項

- 試験に関する諸注意を行いますので、9時15分までに必ず検査室に入室してください。
- 筆記試験（看護学）開始（9時30分）後の遅刻者に対しては、受験を認めません。
- 試験当日は、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」を必ず持参してください。
- 机の上には、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」「鉛筆削り」「時計（計時機能のみのもの）」「眼鏡」「辞書（英語の筆記試験時間に限る）」以外のものは置かないでください。
- 携帯電話等は、検査室に入る前に電源を切り、かばん等に入れておいてください。また、アラームの設定は解除しておいてください。
- 当日、受験票を忘れた者は、試験会場の受付で係員に申し出てください（仮受験票の発行手続きを受けてもらいます）。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- 試験会場では、監督者等の指示に従ってください。
- 検査室には、受験者以外の立ち入りはできません。
- 昼食の準備をしてください（当日、本学の食堂は営業していません）。

- (10) 大学構内は全面禁煙です。

VI 合格発表

1 発表日時

令和8年12月18日（金）午前10時

2 発表方法

岐阜県立看護大学内の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格発表後、合格者に合格通知を送付します。電話等による問い合わせには一切応じません。

また、ホームページ (<https://www.gifu-cn.ac.jp/>)においても合格者の受験番号が閲覧できます。閲覧期間は、発表当日の午前10時から入学手続期間の最終日までです。

3 試験成績の情報提供

試験成績については、次のとおり情報提供します。

提供対象者	受験者（合格者を除く）本人
試験結果の内容	科目別得点
提供期間	合格発表の日から1か月間（土日祝日を除く午前9時から午後5時）
提供場所・方法	岐阜県立看護大学学務課窓口にて閲覧
必要書類	岐阜県立看護大学大学院受験票

VII 入学手続

1 入学手続期間

令和8年12月21日（月）～令和9年1月5日（火） 午後5時必着

上記期間以降に到着したものは受理しないので、余裕をもって手続をしてください。

2 入学手続方法

後記4に記載する入学手続に必要な書類は、「簡易書留速達郵便」または「直接持参」により提出してください。直接持参する場合の受付時間は、土日祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く午前9時から午後5時までです。

3 入学手続先

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1
岐阜県立看護大学 学務課 大学院入試担当

4 入学手続に必要な書類

- ①誓約書（合格通知と一緒に送付します）
- ②受験票（郵送の場合はコピー、直接持参の場合は原本提示）
- ③顔写真データ（正面、上半身、無帽、無背景で、最近3か月以内に撮影されたもの。顔写真データは、入学後の学生証等に使用します。提出方法の詳細は、合格通知と一緒に送付します）
- ④入学金の振込金受取書のコピー 1枚

5 入学手続上の注意事項

- (1) 入学金の納付については、下記のとおりです。該当する入学金を所定の振込依頼書（合格通知と一緒に送付します）で納めたうえで、その振込金受取書のコピーを提出してください。

なお、ATM・ネットバンキング等により振り込む場合は、下記に記載の「入学金振込口座」に振り込んでください。

いずれの場合も振り込み手数料をご負担ください。

岐阜県内の者	226,000円	入学者、入学者の配偶者又は1親等の親族のいずれかの者が、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの1年間、岐阜県内の市町村に住民登録されている者
その他の者	338,000円	上記以外の者

注1. 金額については予定額であり、変更の場合は連絡します。

注2. 「岐阜県内の者」については、入学後に令和9年4月1日以降に発行された該当者の住民票を提出していただきます。その結果、「岐阜県内の者」の要件を満たしていないことが判明した場合（入学手続以降に変更があった場合を含む）、差額の112,000円を追加徴収します。

「入学金振込口座」

ATM・ネットバンキング等により振り込む場合は、下記の口座に振り込んでください。

銀行支店	十六銀行 羽島支店
預金種類	普通預金
口座番号	1517093
口座名義	公立大学法人 岐阜県立看護大学 入学金受入口座 コリツダ ヲクノホジシキフケリツカシゴダ ヲクニョウカクシヨウケルコウザ

- (2) 入学手続期間内に手続を完了しなかった者については、入学を辞退した者として取り扱います。
- (3) 必要な書類がすべて揃っていない場合には受理できませんので、提出の際には十分確認してください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受理できません。郵送の場合には、所要日数を十分考慮して発送してください。
- (4) 一度受理された入学手続書類及び一度納付された入学金等は、理由のいかんを問わず返却しません。
- (5) 学生保険（日本看護学校協議会共済会総合補償制度「Wi11」）の保険料の納付については、下記のとおりです。
- ① 学生保険は、傷害事故や、賠償事故等に対応した総合補償制度です。研究活動において、万が一の事故等のため、加入していただきます。
 - ② 保険料 13,500円（3年分）を所定の振込依頼書（合格通知と一緒に送付します）により銀行で納めたうえで、振込金受取書のコピーを提出してください。（保険料は令和8年度の金額となります。改定された場合は、改訂後の金額が適用されます。）
 - ③ 振込依頼書の住所氏名欄を記入してください。

6 入学後の必要経費

授業料 年額 535,800円（令和8年度現在）

※金額については予定額であり、変更の場合は連絡します。

- ・前期（5月）、後期（10月）の2回に分けて納入してください。
- ・在学中に、授業料が改定された場合、改定後の授業料が適用されます。（スライド制の適用）

Ⅷ 個人情報の利用について

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報等の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

- ①入学手続きに係わる業務
- ②入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務
- ③個人が特定できない形で統計処理等の業務並びに本学の入学選抜に関する調査研究

取得した個人情報は、上記業務以外に出願者本人の同意を得ることなく、利用又は第三者に提供することはありません。

看護学研究科（博士後期課程）の概要

1 授業科目の概要

授業科目は基本科目と専門科目で構成しています。

(1) 基本科目

看護実践研究の方法開発を多角的視野で追求するという意味で、次の3つの選択科目で構成されています。

① 教育実践研究方法論

看護実践と同様に、教育学の社会実践に関わる課題や研究方法を学ぶことを目指します。

② 組織管理論

保健・医療・福祉・介護組織の下部システムに位置づけられている看護サービスの特質を捉えるに有効な組織論を学ぶ科目として位置づけています。

③ ヘルスケアニーズ調査論

調査研究方法の基礎的能力を培うことを学ぶ基本的な授業科目として位置づけています。

これらは、いずれも隔年ごとに開講する選択科目として、学生の関心に基づき履修することを原則としています。

(2) 専門科目

広域実践看護学研究方法特論Ⅰ及びⅡ、演習、特別研究で構成し、全てが必修です。

① 広域実践看護学研究方法特論Ⅰ・Ⅱ

看護対象特性に焦点をあてた「特論Ⅰ」と、ヘルスケアの環境を整える側面から取り上げる「特論Ⅱ」との2科目で構成し、それぞれの看護実践研究・開発の方法を教授します。

「特論Ⅰ」では、看護対象のライフサイクルで捉えた各期の特性を主軸に健康増進・成長発達・療養生活について、ケア提供方法の研究開発と看護実践のあり方を取り上げます。

「特論Ⅱ」では、育児・介護・療養にかかわる家族への支援やケア環境づくりと地域支援体制づくりへの支援など、ケアを取り巻く小環境・条件を整えていく方法の研究開発と看護実践研究のあり方を取り上げます。

② 広域実践看護学演習

「看護行政・看護政策論」、「看護倫理論」、「看護学教育論」の三つの側面から演習を設定し、看護サービス利用者のニーズを基本に捉えた看護実践の改革の方向性を導く視野と、本課程の目的である看護学教育の基本的能力を培います。「看護行政・政策論演習」では、実践の具体的な研究課題を県域の看護行政・政策との関連で広い視野で捉え直し、「看護倫理論演習」では、看護実践におけるサービス対象の人権や倫理という視点を実践研究の中でどう位置づけて取り組むかを学びます。また、「看護学教育論演習」では、看護実践研究指導のあり方を追求し、看護学の体系的な教育の方法を深めます。なお、この演習では、3科目とも課題レポートを課し、副論文に相当する実質的な学修を行います。

③ 広域実践看護学特別研究

看護実践上の研究課題を選定し、研究計画を作成、実施し、論文としてまとめてまとめるまでの指導を行います。

研究指導教員（※は、事前面談担当教員）

教授 ※古川 直美 ※松下 光子 ※梅津 美香 ※藤澤 まこと
※石川 かおり ※山田 洋子 ※橋本 麻由里 ※奥村 美奈子
※岡永 真由美

出願にあたって：出願前に研究指導教員（研究指導教員のうち※印を付した教員）の事前面談を必ず受けてください。

なお、事前面談は、学務課へ申し込んでください。

申し込み先：岐阜県立看護大学 学務課 058-397-2300（代表）

2 履修課程

区分	授業科目	必修 選択	単位数 (時間)	配当 セメスター	備考
基本 科目	ヘルスケアニーズ調査論	選	1(15)	1・3	[修了要件] ・必修 11 単位 ・選択 2 単位 計 13 単位
	教育実践研究方法論	選	1(15)	1・3	
	組織管理論	選	1(15)	1・3	
専門 科目	広域実践看護学研究方法特論Ⅰ	必	2(30)	1～2	ただし、基本科目は、隔年 開講とし、「ヘルスケアニ ーズ調査論」及び「組織管理 論」は同一年度の開講とす る。 * 1セメスターにおいて、 博士前期課程の「医療・介護 をめぐる倫理と人権」の授業 に参加する。
	広域実践看護学研究方法特論Ⅱ	必	2(30)	1～2	
	看護行政・政策論演習	必	1(30)	2	
	看護倫理論演習	必	1(30)	3 *	
	看護学教育論演習	必	1(30)	1～2	
	広域実践看護学特別研究	必	4(120)	1～6	

6 博士後期課程

添付書類

A票

入 学 願 書

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を
記入してください。

①出願前3か月以内

②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、
無背景

			受験番号	※
フリガナ		性別	生年月日	昭和 平成 年 月 日生
氏 名		1男 2女		
フリガナ				
住 所	〒 都 道 市 区 町 村 府 県 郡 区			
	ハイツ・アパート マンション 号室 団地			
電話番号	— — 自宅・呼出・その他 ()			
緊急連絡先	— — 携帯・その他 ()			
E-mail				
出願資格 (○をつけて 記載する)	大 学	昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込 大学 学部 学科		
	大学院	平成・令和 年 月 修了・修了見込 大学大学院 研究科 (修士・博士前期課程) 専攻		
	学位授与機構	平成・令和 年 月 認定修了・認定修了見込 大学評価・学位授与機構 修士		
	その他	外国の学校教育修了者 文部科学大臣の指定した者 その他 ()		
	入学資格審査認定済者	認定番号		

(ここから切り離して提出してください)

入学検定料の

振込証明書（入学願書貼付用）

又は

振り込みが確認できる書類のコピー

を貼ってください。

※はがれないように、
全面のり付けしてください。

B票

令和9年度 岐阜県立看護大学 大学院
看護学研究科（博士後期課程）入学試験

写真票

受験番号	※
フリガナ	
氏名	

※欄は、記入しないでください。

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を

記入してください。

①出願前3か月以内

②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、
無背景

(ここから切り離して提出してください)

C票

令和9年度 岐阜県立看護大学 大学院
看護学研究科（博士後期課程）入学試験

受験票

受験番号	※
フリガナ	
氏名	
試験期日	令和8年12月12日(土)
試験会場	岐阜県羽島市江吉良町3047-1 岐阜県立看護大学

※欄は、記入しないでください。

日程

試験区分		時間
筆記試験	看護学	9:30~11:00
	英語	11:10~12:10
口述試験	面接	13:00~
受付開始9:00		入室完了9:15

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を

記入してください。

①出願前3か月以内

②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、
無背景

受験上の注意事項

- ① 試験に関する諸注意を行いますので、9時15分までに必ず検査室に入室してください。
- ② 試験開始(9時30分)後の遅刻者に対しては、受験を認めません。
- ③ 試験当日は、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」を必ず持参してください。
- ④ 机の上には、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」「鉛筆削り」「時計(計時機能のみのもの)」「眼鏡」「辞書(英語の筆記試験時間に限る)」以外のものは置かないでください。
- ⑤ 携帯電話等は、検査室に入る前に電源を切り、かばん等に入れておいてください。またアラームの設定は、解除しておいてください。
- ⑥ 当日、受験票を忘れた者は、試験会場の受付で係員に申し出てください(仮受験票の発行手続きを受けてもらいます)。また、受験票は入学手続きの際に必要なとなりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑦ 試験会場では、監督者等の指示に従ってください。
- ⑧ 検査室には、受験者以外の立ち入りはできません。
- ⑨ 昼食の準備をしてください(当日、本学の食堂は営業していません)。
- ⑩ 大学構内は全面禁煙です。

令和9年度 岐阜県立看護大学 大学院
看護学研究科（博士後期課程）出願資格審査

写 真 票

受験番号	※
フリガナ	
氏 名	

※欄は、記入しないでください。

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を
記入してください。

- ①出願前3か月以内
- ②縦4cm×横3cm
- ③正面、上半身、無帽、
無背景

(ここから切り離して提出してください)

令和9年度 岐阜県立看護大学 大学院
看護学研究科（博士後期課程）出願資格審査

受 験 票

受験番号	※
フリガナ	
氏 名	
審査期日	令和8年11月11日(水)
審査会場	岐阜県羽島市江吉良町 3047-1 岐阜県立看護大学

※欄は、記入しないでください。

日程

審査区分	時 間
面接	※

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を
記入してください。

- ①出願前3か月以内
- ②縦4cm×横3cm
- ③正面、上半身、無帽、
無背景

受験上の注意事項

- ① 審査に関する諸注意を行いますので、時 分までに必ず審査室に入室してください。
- ② 面接開始後の遅刻者に対しては、受験を認めません。
- ③ 審査当日は、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」を必ず持参してください。
- ④ 机の上には、「受験票」「BまたはHBの黒鉛筆、またはシャープペンシル」「消しゴム」「鉛筆削り」「時計（計時機能のみのも）」「眼鏡」以外のものは置かないでください。
- ⑤ 携帯電話等は、審査室に入る前に電源を切り、かばん等に入れておいてください。またアラームの設定は、解除しておいてください。
- ⑥ 当日、受験票を忘れた者は、審査会場の受付で係員に申し出てください（仮受験票の発行手続きを受けてもらいます）。
- ⑦ 審査会場では、監督者等の指示に従ってください。
- ⑧ 審査室には、受験者以外の立ち入りはできません。
- ⑨ 大学構内は全面禁煙です。

D票 (D-3)

受験番号 ※

出願者氏名 _____

業 績 調 書

論文等名称	共著者名又は 共同発表者名	発行又は 発表年月日	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	論文の概要及び本人の役割
(別紙のとおり) 別紙を添付する 場合は本紙を表 紙とすること。				

○
(ここから切り離して提出してください)
○

注) 手書きの場合はボールペン又はペンで記入してください。

本学ホームページより様式をダウンロードしてパソコンで作成することができます。

7 共 通

添 付 書 類

D票 (D-1)

受験番号 ※

調 査 書

出願者氏名 _____

履 歴			
学 歴 (高等学 校から記 入してく ださい)	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
職 歴		勤 務 先	具体的な職位と職務内容
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		
	年 月 ～ 年 月		

注) 手書きの場合はボールペン又はペンで記入すること

本学ホームページより様式をダウンロードしてパソコンで作成する場合は書式を変更しないこと

- ※印は記入しないこと
- 「具体的な職位と職務内容」欄には、具体的な病棟名等を記入すること
- 履歴欄が不足する場合は、コピーして使用すること

(D-2) の調査項目も忘れずに記載すること

(ここから切り離して提出してください)

E票

受験番号	※
------	---

推 薦 書

出願者氏名 _____

(ここから切り離して提出してください)

令和 年 月 日

所 属 _____

所 在 地 _____

職名・氏名 _____ 印

出願者との関係 _____

- 注) 手書きの場合はボールペン又はペンで記入してください。
本学ホームページより様式をダウンロードしてパソコンで作成する場合は書式を変更しないでください。
1. ※印の欄は記入しないでください。
 2. 推薦書が不足する場合は、コピーして使用してください。

F 票

受験番号 ※

在籍期間証明書

岐阜県立看護大学長 様

令和 年 月 日

施設（機関）名

所在地

施設（機関）長又は代表者

職印

下記の者は、当施設（機関）において、実務経験がある（見込まれる）ことを証明します。

記

ふりがな
氏名

生年月日 年 月 日生

実務期間 年 月 ～ 年 月（ 年 か月）

職 種

勤務形態 1 常勤 2 非常勤（1日当たり 時間 : 週 日勤務）

職務内容

- 注) 1 看護師、保健師、助産師及び養護教諭の資格での実務経験期間について、在籍施設（機関）長又は代表者が証明（職印が必要）してください。
- 2 「勤務形態」については、常勤、非常勤のいずれかに○印をし、非常勤については1日当たりの平均時間数及び週の勤務日数を記入してください。
- 3 用紙が不足する場合はコピーして使用してください。

※印の欄は記入しないでください。

（ここから切り離して提出してください）

H票

出願資格審査申請書

写真添付欄

※裏面に氏名、生年月日を
記入してください。

①出願前3か月以内

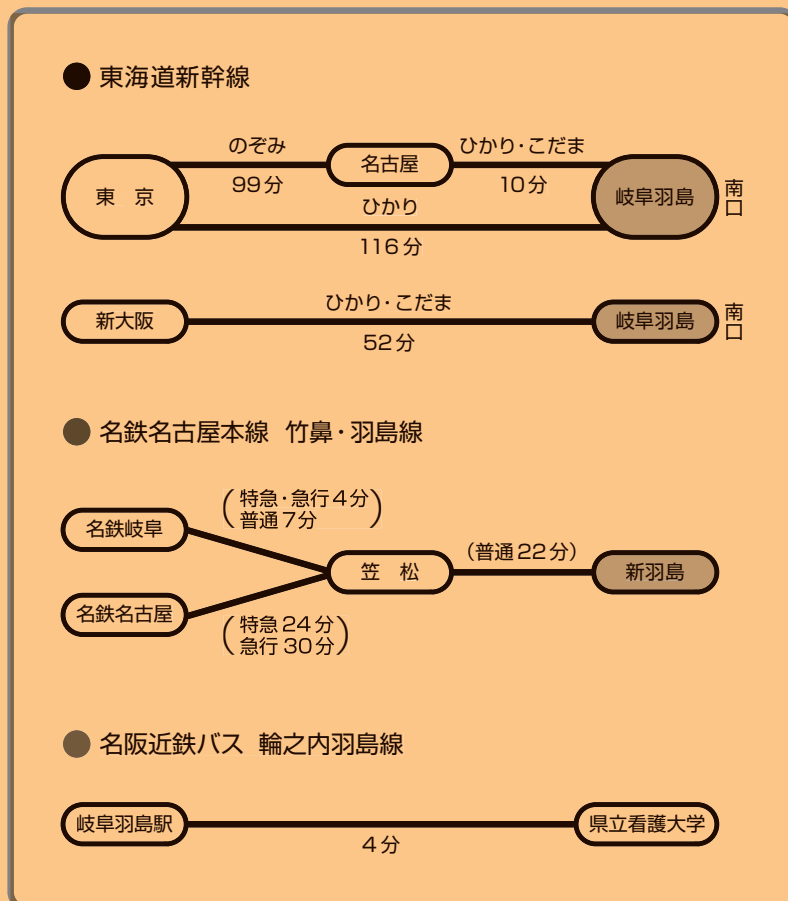
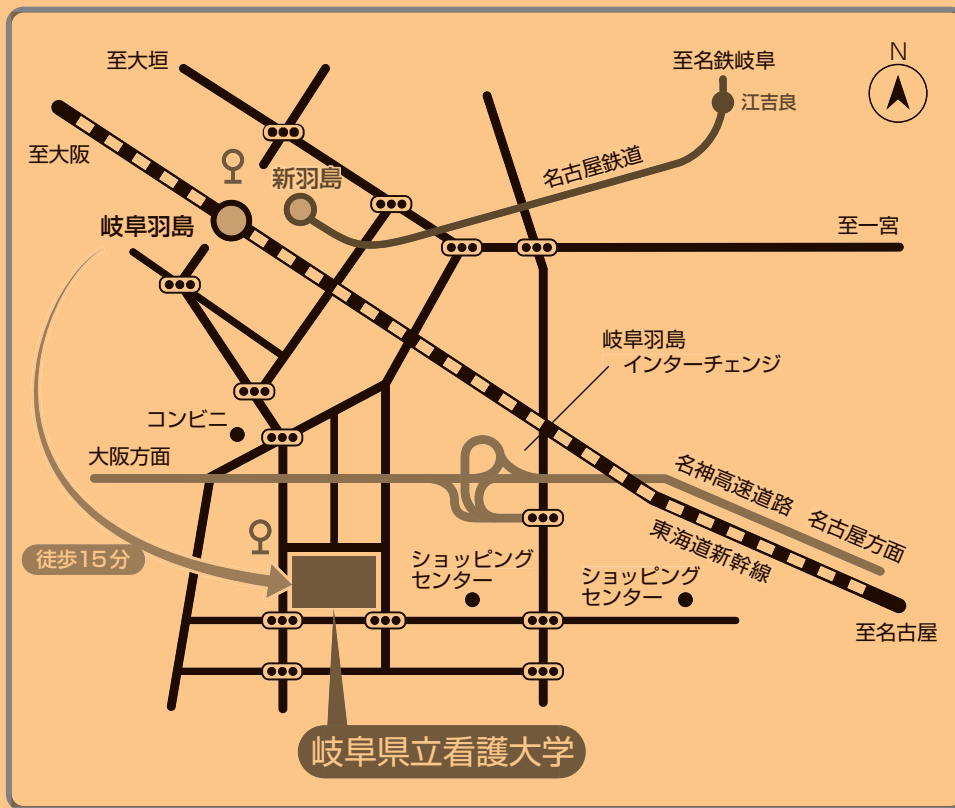
②縦4cm×横3cm

③正面、上半身、無帽、
無背景

			受験番号	※
フリガナ		性別	生年月日	昭和 平成 年 月 日生
氏名		1男 2女		
フリガナ				
住所	〒 都道市区町村			
	府県 郡 区			
	ハイツ・アパート マンション 号室 団地			
電話番号	— — 自宅・呼出・その他（ ）			
緊急連絡先	— — 携帯・その他（ ）			
E-mail				
免許・資格等	(免許番号)			
	(免許番号)			
	(免許番号)			
	(免許番号)			
	(免許番号)			

(ここから切り離して提出してください)

○試験会場へのアクセス



公立大学法人岐阜県立看護大学

〒501-6295 岐阜県羽島市江吉良町 3047-1

TEL: 058-397-2300 (代表)

FAX: 058-397-2302

MAIL: gakumu@gifu-cn.ac.jp

H P: <https://www.gifu-cn.ac.jp/>